

# 第2学年2組 体育科学習指導案

授業者 森 田 哲 史

## 1 単元名 「折り返し障害物リレー遊び」(走の運動遊び)

### 2 運動の特性

#### (1) 一般的特性

○競い合ったり、記録に挑戦したりして楽しむ運動である。

#### (2) 児童からみた特性

折り返し障害物リレー遊びの楽しさや喜びを感じる要因	折り返し障害物リレー遊びを遠ざける要因
・競走に勝ったり、記録が伸びたりしたとき ・調子よく走る心地よさを味わうことができたとき	・競走に負け続けたり、記録の停滞が続いたりしたとき

### 3 児童の実態

#### (1) 技能

9月に折り返しリレー遊びを学習しており、真っ直ぐに走り、素早く小回りで折り返すことを多くの児童が身に付けている。一方、バトンを受け取り損ねてしまうことが見られ、正確なバトンパスが身に付いているとは言い難い。また、障害物を走り越す動きは、初めて学習する。

#### (2) 態度

運動への関心・意欲が高く、授業で学習した鉄棒に休み時間にも進んで取り組んでいる。しかし、自分が運動したいという欲求が強いため、互いの動きを見合う姿はあまり見られない。

#### (3) 思考・判断

1学期の鉄棒を使った運動遊びや水遊びでは、動きをまねしたい友達を探すことができた。しかし、何がよい動きなのかを見付けることはあまりできていなかった。

### 4 教師の指導観

#### (1) 技能

6年間を見通した系統性のある指導計画を立てることで、目指す動きの重点化をしていく。第2学年では、いろいろな方向やリズムで用具を跳び越えることで、片足で前方に踏み切って、逆足で着地して走るとともに、後ろからの正確なバトンパスができるようにする。

#### (2) 態度

制限時間内にゴールできたら記録更新というタイムアタックリレーを設定し、チームで集団達成を目指していく。目標に向かって、動きを見合ったり話し合ったりできるようにする。

#### (3) 思考・判断

思考・判断する具体的な場面として、①友達のよい動きやよくしたい動きを見付ける場面と②コースづくりをする場面を設定する。①では用具と動きを焦点化してよい動きとよくしたい動きを見付けることで、動きのポイントを知識として習得できるようにする。②では習得した知識(動きのポイント、ルール)と自分たちの技能を活用して、用具の置き方を工夫できるようにする。

### 5 単元の目標

(1) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。 【関心・意欲・態度】

(2) 走る簡単な遊び方を工夫できるようにする。 【思考・判断】

(3) 低い障害物を跳び越え、後ろからの正確なバトンパスができるようにする。 【技能】

## 6 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	○走の運動遊びに進んで取り組むとともに、順番やきまりを守り勝敗を受け入れて仲よく運動をしようとしたり、運動をする場の安全に気を付けようとしたりしている。	○走の運動遊びの行い方を工夫している。	○走の運動遊びを楽しく行うための基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きができる。
学習活動に即した評価規準	①運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ②運動の順番やきまりを守り、勝敗の結果を受け入れて、友達と仲よく運動をしようとしている。 ③友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。 ④運動をする場や用具の使い方などの安全に気を付けようとしている。	①運動遊びの行い方を知るとともに、用具の置き方を変えながら、いろいろな運動の仕方を見付けたり、選んだりしている。 ②動きのポイントを知るとともに、友達のよい動きやよくしたい動きを見付けている。	①片足で前方に踏み切って、逆足で着地して走ることができる。 ②後ろから正確にバトンを渡したり受けたりすることができる。

## 7 単元の計画

### (1) 領域（陸上運動系）の取り上げ方

学年	短距離走・リレー系	ハードル走系	走り幅跳び系	走り高跳び系
第1学年	置き換えリレー遊び 6時間	置き換え障害物リレー遊び 5時間	幅跳び遊び 3時間	
<b>第2学年</b>	折り返しリレー遊び 6時間	<b>折り返し障害物リレー遊び 6時間 (本単元)</b>		高跳び遊び 3時間
第3学年	小トラックリレー 5時間	小型ハードル走 6時間	幅跳び 5時間	
第4学年	トラックリレー 5時間	小型ハードル走 6時間		高跳び 5時間
第5学年	短距離走・トラックリレー 5時間	ハードル走 6時間	走り幅跳び 6時間	
第6学年	短距離走・トラックリレー 5時間	ハードル走 6時間		走り高跳び 6時間

### (2) 運動種目（ハードル系）の取り上げ方

学年	教材	高さ	インターバル	目指す動き
1	置き換え障害物リレー遊び (障害物は、ケンステップ、タイヤ、カラーコーン)			直線、蛇行、回旋などいろいろな方向に走ったり、片足や両足で連続して跳んだりすること
<b>2</b>	<b>折り返し障害物リレー遊び (障害物は、平面的なシート、マット)</b>	<b>0 cm</b>	<b>非一定</b>	<b>片足で前方に踏み切って、逆足で着地して走ること</b>
3	8秒間ハンディキャップ走(40m) 折り返し小型ハードルリレー	30cm 程度	非一定	非一定間隔に小型ハードルを置いて、いろいろなリズムで調子よく走り越えること
4	8秒間ハードル走(40m) 小トラック小型ハードルリレー	30cm 程度	一定	一定間隔に小型ハードルを置いて、一定のリズムで調子よく走り越えること
5	チーム対抗40mハードル走 (低いハードル)	40cm 程度	一定	第1ハードルを決めた足で走り越え、自分に合ったインターバルを3歩のリズムで走ること
6	チーム対抗40mハードル走 (第5学年よりも高いハードル)	60cm 程度	一定	自分に合ったインターバルで、少し高さのあるハードルを体のバランスをとりながら走ること

(3) 指導と評価の計画（6時間扱い） 本時は○印 3／6時

時	1	2	③	4	5	6
ねらい	○協力して準備や片付けをし、安全に気を付けて修行しよう。	○修行の仕方（障害物のよい跳び越し方）を知ろう。	○友達にたくさんアドバイスをしよう。	○おもしろい修行コースをつくろう。	○一番速く走れる修行コースをつくろう。	○天下ーリレー大会で、障害物を上手に走り越えよう。
指導の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の仕方や進め方</li> <li>・チーム編成</li> <li>・用具の準備や片付けの仕方</li> <li>・安全な運動の行い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアまたはトリオづくり</li> <li>・斜め方向への跳び越し方</li> <li>・前方への跳び越し方</li> <li>・連続での跳び越し方</li> <li>・ファイトコールの仕方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話合いの仕方</li> <li>・よいアドバイスの仕方</li> <li>・よいアドバイスをしている児童紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コースづくりのルール（用具の置き方など）</li> <li>・話合いの仕方</li> <li>・よい教え合いをしている児童やチーム紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速く走るためのよい動きの確認</li> <li>・話合いの仕方</li> <li>・よい教え合いをしている児童やチーム紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールの確認</li> <li>・応援の仕方</li> <li>・よい動きの再確認</li> <li>・単元のまとめ</li> <li>・第3学年の予告と見通し</li> </ul>
学習過程	<p>1 集合、整列、挨拶をする。</p> <p>2 準備運動をする。</p> <p>《オリエンテーション》</p> <p>3 単元の学習内容と本時のねらいを確認する。</p> <p>4 学習の仕方や進め方に見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習過程、1時間の流れ</li> <li>・用具の確認</li> <li>・学習の場づくりの仕方</li> <li>・学習カードの使い方</li> </ul> <p>5 チーム編成をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女混合異質6チーム</li> </ul> <p>6 パワーアップタイム（感覚づくりの運動）をする。</p> <p>7 試しの折り返し障害物リレー遊び（ドラゴンボール超リレー）をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力して用具の準備</li> </ul> <p>※どの用具をどこに置くのかを示した学習の場づくりの掲示資料を用いて、安全に短時間で準備をできるようにする。</p>					
	<p>3 パワーアップタイム（感覚づくりの運動）をする。</p> <p>(1) 悟空と悟飯</p> <p>※静止した状態から逃げるにより、スタートダッシュにつなげる。</p> <p>(2) 新聞ドラゴンボール投げっこ合戦</p> <p>※学校課題のボール投げを意識した投力向上のための手立てとして行う。</p> <p>・新聞紙1枚を縦に2回折り、体育着に挟んでしぼとする。</p> <p>・悟空チームと悟飯チームに分かれ、チーム名を呼ばれたチームが逃げる。9m先のゴールラインまでにしぼを取られなければ勝ち。</p> <p>・蛇行して逃げると衝突の危険があるため、真っ直ぐ走るようにする。</p> <p>・「悟空と悟飯」で使った新聞を丸めてボールをつくる。</p> <p>・体育館を二分したラインを挟んでボールを一定時間投げ合う。</p> <p>・自陣のボールを素早く片付けたチームの勝ちとする。そのため、できるだけ遠くに投げると、相手チームが片付けにくい勝利につながる。</p>					
	<p>4 本時のねらいを確認する。</p> <p>5 折り返し障害物リレー遊びを行い、修行の仕方（障害物のよい跳び越し方）を知る。</p> <p>※ペアまたはトリオをつくり、互いの動きを見合うことができるようにする。</p> <p>6 チームで斜め跳び、前方跳び、連続跳びの練習をする。</p> <p>7 タイムアタックリレーをする。</p>					
	<p>5 タイムアタックリレーをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・斜め跳び、前方跳び、連続跳びをしながら折り返し、リングバトンを次走者につなぐ。</li> <li>・制限時間を音楽教材で設定し、音楽が終わるまでに全員が走り終われば達成とする。</li> <li>・達成したチームは、一番奥にあるコーン（折り返しポイント）を少しずつ遠くにして挑戦する。</li> </ul>  <p>6 ペアまたはトリオで互いの動きを見合うことで、友達にアドバイスをする。</p> <p>※用具（各種マット、シート）を焦点化し、よい動きやよくしたい動きを見付けやすくする。</p> <p>6 知識（動きのポイント、ルール）と自他の技能を活用して、おもしろい修行コースづくりをする。</p> <p>※ペアまたはトリオで用具の置き方を考えられるようにする。</p> <p>6 知識（動きのポイント、ルール）と自他の技能を活用して、一番速く走れる修行コースづくりをする。</p> <p>※ペアまたはトリオで用具の置き方を考えられるようにする。</p>					
	<p>5 天下ーリレー大会（総当たりリーグ戦）開会式を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対戦方法の確認。</li> <li>・ルールの確認。</li> </ul> <p>6 動きやコースについてチームで会合ったり話し合ったりしながら練習する。</p> <p>7 天下ーリレー大会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣のコースを走る相手チームと対戦する。</li> <li>・先にゴールしたチームの勝ちとし、総当たりリーグ戦を行う。</li> </ul> <p>8 単元のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードへの記入</li> </ul> <p>・ねらいに沿った振り返り</p> <p>・第3学年の予告と見通し</p> <p>9 整理運動、挨拶をする。</p> <p>10 後片付けをする。</p>					
評価計画	関	③④	①		②	
	思		②	②	①	
	技					①②
	方法	観察	観察、学習カード	観察、学習カード	観察、学習カード	ビデオ
	場面	7	5、6	6	6	7

## 8 本時の学習と指導（3／6時）

### (1) ねらい

○動きのポイントを知るとともに、友達のよい動きやよくしたい動きを見付けることができる。

【思考・判断】

### (2) 準備

・新聞紙 ・リングバトン ・マット ・シート ・音楽教材 ・掲示資料 ・学習カード

### (3) 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点（○指導 ◆評価規準）
導入 13分	1 集合、整列、挨拶をする。	○身なりを整え、気持ちよく学習を始めるようにする。
	2 準備運動をする。	○一つ一つの動きを正しく行えるように声かけをする。
	3 パワーアップタイムをする。 (1) 悟空と悟飯 (2) 新聞ドラゴンボール投げっこ合戦	○素早く振り向いてスタートダッシュする児童を称賛し、タイムアタックリレーの動きにつなげるようにする。 ○なるべく遠くに投げることが勝利につながることを伝え、遠くに投げる投動作ができるようにする。
展開 27分	4 本時のねらいを確認する。	○タイムアタックリレーで、さらに記録を伸ばすために、どうしたらよいかを問いかけ、考えられるようにする。
	友達にたくさんアドバイスをしよう。	
	5 タイムアタックリレー（1回目）をする。 6 友達のよい動きやよくしたい動きを見付け、アドバイスをし合う。 ・「跳ぶリズムがいいね。」 ・「低く跳ぶともっといいよ。」	○あえてチームベスト記録よりも一つ上の記録に挑戦し、動きを高めるためにアドバイスが必要であることに気付けるようにする。 ○「よい動き」と「よくしたい動き」の二つの観点でアドバイスをすることで、具体的な活動の決定をできるようにする。その際には、チームを二つに分けペア・トリオで動きを見合えるようにする。
整理 5分	◆動きのポイントを知るとともに、友達のよい動きやよくしたい動きを見付けている。 (観察・学習カード)【思】	
	○よい動きを可視化した掲示物を活用し、どこに着目して動きを見ればよいのか明確にすることで、効果的な振り返りをし、適切なアドバイスを選択できるようにする。	
	△努力を要すると判断される状況（C）の児童への指導の手立て 掲示資料を見たり、これまでの学習を想起したり、友達の意見を聞いたりするよう声をかける。 ◎十分満足できると判断される状況（A）の児童の具体的な姿 これまでに習得した知識や自他の現在の技能を振り返りの視点とし、友達の動きを見てよい動きとよくしたい動きを見付け、具体的な言葉でアドバイスしている。	
整理 5分	7 タイムアタックリレー（2回目）をする。	○ベスト記録更新ができなかったとしても、動きの高まりを認め、教え合いの成果を実感できるようにする。
	8 本時の振り返りをする。	○本時のねらいに沿って学習を振り返り、よい教え合いをしていた児童を紹介し、全体に広めるようにする。
	9 整理運動、挨拶をする。	○ゆったりとした動作で全体をほぐすようにする。

9 備考 在籍児童数 35名 男女混合異質6チーム（1チーム5～6名）編成